

平和に関する信仰的宣言
【平和宣言】
(2019年改訂版の交読文)

日本バプテスト連盟

このブックレットについて

2019年11月21日、第65回日本バプテスト連盟定期総会において、平和に関する信仰的宣言(以下「平和宣言」)の改定が承認されました。この新しい平和宣言を皆さんに用いていただくために、この度、交読文ブックレットの改訂版を発行することにいたしました。どうぞ礼拝や諸集会などでご活用くださいますよう、お願いいたします。

また、交読文の後には、この度の改訂のポイントについての解説も載せました。平和宣言の学びや教会での平和学習などにご活用いただければ幸いです。

巻末の「この冊子の使い方」は、2010年に最初の交読文ブックレットが発行された時に当プロジェクトの委員長であった金子千嘉世さん(2018年召天)の文章をそのまま参考資料として載せました。使い方のご参考になさってください。

平和に関する信仰的宣言は状況的な宣言です。今回の改訂に留まらず、今後もこの信仰的宣言をわたしたちの直面する現実在即したものにし続けるため、検討・検証を続けていきたいと考えています。どうぞお祈りください。

2021年4月
日本バプテスト連盟平和に関する信仰的宣言全国推進プロジェクト
委員長 谷本仰

目次

このブックレットについて	2
交読文本文	4
改訂のポイント	14
この冊子の使い方	15

前文

「平和をつくり出す人たちは、さいわいである」と主イエスは言われる。

しかし今、世界は敵意に満ちている。

殺戮と報復が果てしなく繰り返され、

絶望が支配しようとしている。

十字架の主イエスはこの世界において審きと和解を為し、解放と平和を告げ知らせ、私たちを復活のいのちへと導かれる。

私たちは静まって沈黙し、主イエスの声に聴く。

(一同) **教会は救われた者の群れとして応答に生きる。**

神は奴隷の地エジプトから人々を解放し、十戒を与え、救いの出来事に応答して生きることを命じた。

主イエスは十字架と復活を通してこの律法を成就された。

それゆえ私たちは十戒を死文と化してはならない。

教会は十戒を生きる。

この世界の中で主のことばに従って平和を創り出していくために、日本バプテスト連盟に加盟する私たちは

主の恵みに与りつつ、主の戒めに生きることを宣言する。

1、私たちは主イエスに従う

十字架の恵みを受けた私たちは主イエスに従う。

信じる者は服従へと召され、主イエス以外のすべての束縛から解放される。

主イエスへの服従こそが、私たちを自由にする。

第一戒 ^{だいいっかい} あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない。

私たちは主イエスの御顔をのみ仰ぎ見る。私たちは御声をのみ聴く。

私たちは自らを誇ることをせず、十字架の主イエスを誇る。

私たちは御心のままにと祈る。

私たちは主イエス以外を知らない心貧しき者として生きる。

私たちはこの生に平和を見出す。

2、私たちは主イエスのほか何ものにも服従しない

主イエスへの服従はそのほか一切のものに対する服従の拒否である。

不服従を伴わない服従はあり得ない。

主に服従する私たちは自分自身にとって最も大切なものさえも断念する。

第二戒 ^{だいにかい} あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。

国家、民族、イデオロギー、経済、富、宗教的・政治的権威、自由と正義、道徳、良心、感情、感覚、生命、自分自身、そして愛する者たち。

これら一切は、服従の対象ではない。

(一同)私たちはこれらを神に仕立て上げ、これらにひれ伏し仕えることをしない。

だいさんかい
第三戒 あなたはあなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。

教会は神の御心を騙ってはならない。

(一同) 教会が神の名を利用して、暴力や報復、正義の戦いを肯定することは許されない。

だいよんかい あんそくにち おぼ
第四戒 安息日を覚えてこれを聖とせよ。

礼拝をこの世と区別しないとき、服従してはならないものへの服従が始まる。

礼拝は主イエスへの服従行為であり、この世に対する断念である。

私たちは礼拝を第一とする。

3、主イエスに従う私たちは殺さない

主イエスによって解放され生かされた私たちは、もはや殺すことができない。

もし殺すなら、私たちは服従してはならないものに服従するのであり、主の恵みを否定するのである。

主によって解放され生かされた私たちは、もはや赦すこと、愛すること、

分かち合うこと、生かすことしか許されてはいない。

教会はただそれらのことにおいて主に服従し、主の恵みを喜ぶ。

だいがかい
第五戒 あなたの父と母を敬え。

主イエスによって解放され生かされた私たちは、年老いて弱さ
の中におかれた者たちを尊ぶ。

戦争の時代、生きる価値がないとされた者たちは殺される。

私たちは彼らと共に生きることによって、戦争の価値観を拒否
する。

(一同)教会は戦争の役に立たない群れとして生きる。

だいろっかい
第六戒 あなたは殺してはならない。

主イエスによって解放され生かされた私たちは、他者を殺しそ
の存在を否定することができない。

殺しのあるところに平和はない。

私たちは殺さない。

ぐんび
軍備のあるところに平和はない。

私たちは殺すための備えを否定する。

戦争に協力するところに平和はない。

私たちは殺すことにつながる体制づくりに協力しない。

暴力のあるところに平和はない。

私たちは暴力の正当性を否定する。

(一同)主に従う教会は敵を愛し、迫害する者のために祈る。

第七戒 ^{だいななかい} あなたは^{かんいん}姦淫してはならない。

主イエスによって解放され生かされた私たちは、姦淫することができない。

姦淫は性的に他者を支配し、その尊厳を^{おか}冒すことである。

それはあらゆる性差別・性暴力として私たちの間に^あ在る。
戦争はこれを正当化し利用する。

姦淫のあるところに平和はない。

私たちは姦淫をしない。

教会は性の領域^{せい りょういき}においても他者の^{そんげん}尊厳を守る。

第八戒 ^{だいはっかい} あなたは盗んではならない。

主イエスによって解放され生かされた私たちは、盗むことができない。

しかし神が^{つく}造られたこの世界は、常に^{さくしゅ しゅうだつ}搾取と収奪にさらされ盗まれ続けている。

**搾取^{さくしゅ}と収奪^{しゅうだつ}は一部の^と富める者と多くの貧しい者たちを生み出し、
紛争^{ふんそう}の要因^{よういん}となっている。**

富める者は^{みづか}自らの^{けんえき}権益を守るため戦争をする。

搾取と収奪のあるところに平和はない。

私たちは盗まない。

教会は神が与えた恵みを分かち合う。

第九戒 あなたは隣人について偽証してはならない。

主イエスによって解放され生かされた私たちは、偽証することができない。

偽証は自己保身と悪の正当化の手段である。

歴史に対する偽証はアジアの隣人との和解を阻害してきた。

偽証のあるところに平和はない。

私たちは偽証をしない。

主イエスの赦しを受けた私たちは、もはや保身のための偽証を必要としない。

教会は罪をありのままに告白することによって隣人との和解を願う。

第十戒 あなたは隣人の家をむさぼってはならない。

主イエスによって解放され生かされた私たちは、むさぼることができない。

むさぼりとは、人が自らの栄光を求め、神になろうとすることである。

それは私たちを弱さの拒否といのちの価値づけ、殺戮、性暴力、搾取と収奪、偽証へと再び向かわせる。

むさぼりは死をも利用する。

むさぼりのあるところに平和はない。

私たちはむさぼらない。

私たちは赦された罪人にすぎない。

国、力、栄え、一切は神のものである。

教会は一切を神に捧げ、奉仕に生きる。

けつご 結語

主イエスによって解放され生かされた私たちは、応答として十戒に生きるはずだった。

ゆる
赦され、生かされた者は、殺すことなどもはやできない。

にもかかわらず、教会は戦争に協力した。

ゆる **いまし**
私たちは、赦された故に主の戒めを守る必要がないとさえ考えた。

こうして私たちは主イエスの恵みを安価なものにしてしまった。

きよくげん **ゆうわく**
極限状況は暴力とその正当化へと私たちを誘惑する。

しかしたとえそれが愛する者を守るための暴力であっても、その暴力行為によって私たちは主イエスの十字架の下で審かれる。

さば **ゆる** **じっかい**
私たちは主の審きと赦しのもとで十戒を生きるしかない。

教会は主イエスに従う。

だんねん
教会は主イエス以外のものを断念する。

教会は弱いものを尊ぶ。

殺さない。

かんいん
姦淫しない。盗まない。

ぎしやう
偽証をしない。むさぼらない。

主イエスの十字架の和解はすでに成し遂げられた。

絶望の闇はこれに勝たなかった。私たちは、復活のいのちに

与り、平和を創り出す。

敵意と殺戮、報復と絶望は終焉へと向かっているにすぎない。

主は、世の終わりまでいつも私たちと共におられる。

主イエスよ、先立ちたまえ。伴いたまえ。我らを新たにたまえ。

聖霊なる神よ、我らをきよめ、平和の器となさせたまえ。

父なる神よ、御国を来たらせたまえ。

アアメン、主イエスよ、来たりませ。

(一同) 平和の主イエスよ、来たりませ。

2002年11月15日 日本バプテスト連盟第49回定期総会
2019年11月15日 日本バプテスト連盟第65回定期総会 改訂

で審かれる。私たちは主の審きと赦しのもとで十戒を生きるしかない。

教会は主イエスに従う。教会は主イエス以外のものを断念する。教会は弱いものを尊ぶ。教会は殺さない。姦淫しない。盗まない。偽証をしない。むさぼらない。

主イエスの十字架の和解はすでに成し遂げられた。絶望の闇はこれに勝たなかった。私たちは、復活のいのちに与り、平和を創り出す。主は、世の終わりまでいつも私たちと共におられる。

終わりの日に、主は敵意と殺戮、報復と絶望を完全に終わらせ、苦しめられてきた者たちの目から涙を全く拭い去ってください。教会は主が来られる時に至るまで主の死を告げ知らせ、和解の福音を担い続ける。

主イエスよ、先立ちたまえ。伴いたまえ。我らを新たにしたまえ。聖霊なる神よ、我らをきよめ、平和の器となさせたまえ。父なる神よ、御国を来たせたまえ。

アメン、主イエスよ、来たりませ。

平和の主イエスよ、来たりませ。

教会は主イエスに従う。教会は主イエス以外のものを断念する。教会は弱いものを尊ぶ。教会は殺さない。姦淫しない。盗まない。偽証をしない。むさぼらない。

主イエスの十字架の和解はすでに成し遂げられた。絶望の闇はこれに勝たなかった。私たちは、復活のいのちに与り、平和を創り出す。敵意と殺戮、報復と絶望は終焉へと向かっているにすぎない。主は、世の終わりまでいつも私たちと共におられる。

主イエスよ、先立ちたまえ。伴いたまえ。我らを新たにしたまえ。聖霊なる神よ、我らをきよめ、平和の器となさせたまえ。父なる神よ、御国を来たせたまえ。

アメン、主イエスよ、来たりませ。

平和の主イエスよ、来たりませ。

<第7戒の改訂のポイント>

姦淫・性暴力は、それが他者を性的に支配しようとする行為としてこそ問題であると捉えなおし、もっぱら「性的欲望」に焦点をあてていた内容を改めました。そして、この姦淫が、あらゆる性差別・性暴力として、戦時下のみならず現代の私たちの間にも在ることを覚えるものになりました。

<第10戒の改訂のポイント>

旧版では、「むさぼり」の捉え方が第八戒の「盗み」の理解と重複していたため、改訂版では第十戒を、十戒全体を総括する戒めとして

捉えなおしました。つまり、第 5 戒以下に指摘されている「罪(弱さの拒否、殺戮、性暴力、搾取と収奪、偽証)」の根源として「むさぼり」があるという理解です。

その「むさぼり」は、人を十字架抜きの神に向かわせ、あまつさえ人自らを「神」と思わせます。このむさぼりに対抗するために、「私たちは赦された罪人にすぎない」ということを明言しました。

「死者」を「死」に変えたのは、むさぼりが「死者」のみならず「死」そのものを美化して利用することを含意するためです。

<結語の改訂のポイント>

まず、全体の流れを、応答しなかった私たちはイエス・キリストの十字架において審かれた存在であり、すでに成し遂げられた十字架の和解と主の伴いの希望をもって歩んでいく決意へと向かうものとして整えました。

その際、十字架の赦しは「罪」の赦しではなく「罪人」の赦しであること、私たちは恵みを「理解しなかった」のではなく恵みに「応答しなかった」のだということ、キリストの和解の希望は「終わりの日」まで待つべきものではなく十字架においてすでに与えられているものだという事など、いくつか理解を改めました。

平和に関する信仰的宣言【平和宣言】(2019年改定版の交読文)

発行日 2021年4月30日

発行者 日本バプテスト連盟平和宣言全国推進プロジェクト

委員長 谷本仰

〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和 1-2-4

Tel 048-883-1091

印刷 (有) 星雲印刷

〒803-0841 福岡県北九州市小倉北区清水 1-8-7

Tel 093-561-3128
